

平成21年2月10日

各 位

上場会社名 石油資源開発株式会社
代表者 代表取締役社長 渡辺修
(コード番号 1662)
問合せ先責任者 広報IR部 広報グループ長 長谷川茂吉
(TEL 03-6268-7110)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	219,828	21,836	26,539	19,828	346.92
今回発表予想(B)	204,154	19,444	20,497	11,641	203.68
増減額(B-A)	△15,674	△2,392	△6,042	△8,187	―――
増減率(%)	△7.1	△11.0	△22.8	△41.3	―――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	207,638	19,625	27,247	20,097	351.65

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	172,335	14,929	25,502	21,828	381.91
今回発表予想(B)	160,002	13,201	25,679	19,114	334.43
増減額(B-A)	△12,333	△1,728	177	△2,714	―――
増減率(%)	△7.2	△11.6	0.7	△12.4	―――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	171,563	18,560	17,726	14,279	249.84

修正の理由

通期業績予想につきましては、原油価格の下落や為替レートの円高傾向を反映して第4四半期(1月～3月)の原油CIF価格を45ドル/バレル、為替を90円/ドルと変更したことにより、売上高・営業利益・経常利益ともに前回予想を下回る見通しです。また、平成21年3月期第3四半期に北海道勇払鉱場で採掘を目的に平成20年5月に開坑した沼ノ端8号井が商業量に足る生産量が得られず、同坑井の一部区間を廃坑したことにより固定資産除却損及び減損損失を特別損失に計上したことなどにより、当期純利益は前回予想を下回る見通しです。

(参考)

【原油CIF価格見通し】

今回見通し:平成21年1月～3月 45ドル/バレル

前回見通し:平成20年10月～12月 85ドル/バレル、平成21年1月～3月 55ドル/バレル

【為替レート見通し】

今回見通し:平成21年1月～3月 90円/ドル

前回見通し:平成20年10月～平成21年3月 95円/ドル

(注)上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上